



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社  
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮川 尚久  
 (氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	38,793	7.2	1,324	41.0	1,243	27.8	1,019	53.2
26年3月期第1四半期	36,196	△10.6	939	15.2	972	101.8	665	—

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 1,056百万円 (△53.9%) 26年3月期第1四半期 2,294百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.52	2.49
26年3月期第1四半期	1.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	200,670	27.0	55,850	27.0	—	—
26年3月期	199,408	27.4	56,313	27.4	—	—

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 54,229百万円 26年3月期 54,694百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	0.6	3,000	8.3	2,500	1.3	1,200	△4.5	2.97
通期	163,500	0.3	8,000	16.2	6,700	8.9	4,200	5.6	10.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	404,455,680 株	26年3月期	404,455,680 株
27年3月期1Q	332,089 株	26年3月期	329,062 株
27年3月期1Q	404,124,835 株	26年3月期1Q	404,135,908 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
平成27年3月期 第1四半期決算短信 補足資料 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～同年6月30日)の我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が一部でみられましたが、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクを抱えながら推移しました。

このような経済状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は387億93百万円(対前年同期比25億96百万円増)、営業利益は13億24百万円(対前年同期比3億84百万円増)となりました。売上高は産業機械、ユニック、開発機械の機械各部門が順調に対前年同期比増収となり、営業利益もユニック部門、開発機械部門で増収により増益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は34億76百万円(対前年同期比14億79百万円増)、営業利益は21百万円(対前年同期比15百万円増)となりました。震災被災地における高台移転工事をはじめ、橋梁、一般産業機械で売上を伸ばすことができました。

開発機械部門では、国内向けは引き続き堅調に推移しており、海外向けは経済が好調な北米向けやアフリカ向け、中近東向けが売上を伸ばすことができ、売上高は63億34百万円(対前年同期比5億92百万円増)、営業利益は1億81百万円(前年同期は48百万円の損失)となりました。

ユニック部門の売上高は61億54百万円(対前年同期比8億42百万円増)、営業利益は7億54百万円(対前年同期比2億42百万円増)となりました。普通トラックの登録台数は対前年同期比112.8%となり、ユニッククレーンの販売台数を伸ばすことができました。また、ユニックキャリアについても売上を伸ばすことができました。

産業機械、開発機械およびユニックの機械3部門の合計売上高は159億64百万円(対前年同期比29億13百万円増)、営業利益は9億58百万円(対前年同期比4億88百万円増)となりました。

金属部門では電気銅の販売数量は23,964トン(対前年同期比713トン減)となり、売上高は191億71百万円(対前年同期比5億66百万円減)、営業利益は2億64百万円(対前年同期比57百万円減)となりました。

電子部門の売上高は15億43百万円(対前年同期比1億11百万円増)、営業利益は96百万円(対前年同期比58百万円増)となりました。主力の高純度金属ヒ素については原発事故風評被害の影響で苦戦が続いていますが、車載向けが好調なコイル等は売上を伸ばすことができました。

化成品部門の売上高は15億36百万円(対前年同期比1百万円増)、営業利益は79百万円(対前年同期比4百万円増)となりました。

不動産部門の売上高は3億84百万円(対前年同期比1億19百万円増)、営業損失は43百万円(前年同期は60百万円の利益)となりました。平成26年2月の室町古河三井ビルディングの竣工により増収となりましたが、開業に伴う負担の発生により、営業損失の計上となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は12億43百万円(対前年同期比2億70百万円増)となりました。特別利益に受取補償金4億32百万円、事業譲渡益5億29百万円ほかを計上し、特別損失に固定資産除売却損25百万円ほかを計上した結果、四半期純利益は10億19百万円(対前年同期比3億54百万円増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,006億70百万円で前連結会計年度末に比べ12億61百万円増加しました。有利子負債(借入金)は873億78百万円で前連結会計年度末に比べ101億59百万円増加しました。純資産は558億50百万円で前連結会計年度末に比べ4億63百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が460百万円増加し、利益剰余金が296百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,735	18,798
受取手形及び売掛金	26,697	24,057
商品及び製品	12,603	14,620
仕掛品	7,219	7,734
原材料及び貯蔵品	13,244	9,697
その他	4,541	3,428
貸倒引当金	△202	△211
流動資産合計	76,839	78,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,417	22,047
土地	55,400	55,386
その他(純額)	9,380	9,218
有形固定資産合計	87,198	86,651
無形固定資産		
のれん	47	39
その他	160	157
無形固定資産合計	208	196
投資その他の資産		
投資有価証券	30,126	30,738
その他	5,667	5,583
貸倒引当金	△631	△625
投資その他の資産合計	35,162	35,696
固定資産合計	122,569	122,545
資産合計	199,408	200,670
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,556	22,129
短期借入金	30,609	33,801
未払法人税等	2,422	671
引当金	195	253
その他	19,193	11,340
流動負債合計	73,976	68,196
固定負債		
長期借入金	46,610	53,577
引当金	154	152
退職給付に係る負債	5,671	6,049
資産除去債務	205	206
その他	16,477	16,638
固定負債合計	69,118	76,623
負債合計	143,095	144,820

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	21,917	21,433
自己株式	△48	△49
株主資本合計	50,077	49,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,882	6,091
繰延ヘッジ損益	15	69
土地再評価差額金	3,503	3,499
為替換算調整勘定	△953	△1,363
退職給付に係る調整累計額	△3,830	△3,660
その他の包括利益累計額合計	4,617	4,636
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,566	1,568
純資産合計	56,313	55,850
負債純資産合計	199,408	200,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	36,196	38,793
売上原価	31,298	33,455
売上総利益	4,898	5,338
販売費及び一般管理費	3,958	4,013
営業利益	939	1,324
営業外収益		
受取配当金	164	200
不用品処分益	117	199
為替差益	166	—
その他	138	143
営業外収益合計	586	542
営業外費用		
支払利息	296	222
休鉱山管理費	128	139
その他	128	261
営業外費用合計	553	623
経常利益	972	1,243
特別利益		
受取補償金	361	432
事業譲渡益	—	529
その他	81	3
特別利益合計	443	965
特別損失		
固定資産除売却損	11	25
その他	—	0
特別損失合計	11	25
税金等調整前四半期純利益	1,404	2,183
法人税、住民税及び事業税	328	1,012
法人税等調整額	340	125
法人税等合計	668	1,138
少数株主損益調整前四半期純利益	735	1,044
少数株主利益	70	25
四半期純利益	665	1,019



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	735	1,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	728	207
繰延ヘッジ損益	186	1
為替換算調整勘定	408	△245
退職給付に係る調整額	—	170
持分法適用会社に対する持分相当額	234	△121
その他の包括利益合計	1,558	12
四半期包括利益	2,294	1,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,196	1,043
少数株主に係る四半期包括利益	97	13

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	1,996	5,742	5,311	19,737	1,432	1,534
セグメント間の 内部売上高又は振替高	549	4	19	104	1	10
計	2,546	5,746	5,331	19,841	1,433	1,545
セグメント利益又は損失 (△)	6	△48	511	321	38	74

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	264	36,019	177	36,196	—	36,196
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	724	355	1,080	△1,080	—
計	298	36,744	532	37,277	△1,080	36,196
セグメント利益又は損失 (△)	60	965	△19	946	△7	939

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,476	6,334	6,154	19,171	1,543	1,536
セグメント間の 内部売上高又は振替高	657	4	25	93	3	12
計	4,134	6,338	6,179	19,264	1,547	1,548
セグメント利益又は損失 (△)	21	181	754	264	96	79

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	384	38,600	193	38,793	—	38,793
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	831	429	1,260	△1,260	—
計	419	39,431	622	40,054	△1,260	38,793
セグメント利益又は損失 (△)	△43	1,355	△16	1,338	△14	1,324

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 前提

			対前年同期増減
銅価	第1四半期決算 \$/mt	6,787	359
	第2四半期累計予想 \$/mt	6,970	142
	年度予想 \$/mt	7,060	44
為替	第1四半期決算 円/\$	102.2	3.4
	第2四半期累計予想 円/\$	102.1	3.2
	年度予想 円/\$	102.1	1.9

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2014年8月5日

古河機械金属株式会社

## 〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成26年3月期	平成27年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	13,050	15,964	2,913
(産業機械)	(1,996)	(3,476)	(1,479)
(開発機械)	(5,742)	(6,334)	(592)
(ユニック)	(5,311)	(6,154)	(842)
金属部門	19,737	19,171	566
電子部門	1,432	1,543	111
化成品部門	1,534	1,536	1
不動産部門	264	384	119
その他	177	193	15
〔合計〕	36,196	38,793	2,596

平成27年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
33,300	1,687	70,600	511
(7,700)	(260)	(17,600)	(927)
(13,200)	(700)	(26,700)	(142)
(12,400)	(727)	(26,300)	(558)
38,600	1,662	77,900	784
2,800	26	5,600	218
3,000	33	6,200	103
1,000	475	2,500	1,486
300	51	700	39
79,000	442	163,500	473

## 〔営業利益〕

	平成26年3月期	平成27年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	469	958	488
(産業機械)	(6)	(21)	(15)
(開発機械)	(48)	(181)	(229)
(ユニック)	(511)	(754)	(242)
金属部門	321	264	57
電子部門	38	96	58
化成品部門	74	79	4
不動産部門	60	43	104
その他	19	16	2
(計)	946	1,338	392
調整額	7	14	7
〔合計〕	939	1,324	384

平成27年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
2,000	222	5,600	266
(300)	(221)	(1,300)	(551)
(300)	(342)	(1,200)	(858)
(1,400)	(101)	(3,100)	(41)
750	33	1,500	3
70	42	150	273
180	40	330	14
100	4	600	643
70	31	110	49
3,030	243	8,070	1,144
30	13	70	30
3,000	230	8,000	1,113